

松ヶ枝地区

[距離] 約 3km [時間] 約 50 分 [坂・階段] なし

スタート 松ヶ枝緑地～①スタジオ通り（高峰讓吉住居跡・銘板）～②武蔵交差点～③袋町石碑～④旧博労町石碑～⑤黒門前緑地～⑥尾崎神社～⑦尾山神社東神門～⑧南町石碑

～ゴール 松ヶ枝緑地



コース概要

藩政期から商業地として賑わってきた武蔵ヶ辻や前田家ゆかりの神社、金沢の特色の一つである用水も楽しめるコースです。旧博労町には、金沢市保存建造物に指定されている町家もあり、市民の台所といわれる近江町市場でのショッピングなどの寄り道も楽しめます。

①高峰讓吉住居跡（銘板）

高峰讓吉は、嘉永 7 年（1854）富山県高岡市生まれ。タカジアスターゼとアドレナリンという二つの薬を発明した化学者で、近代バイオテクノロジーの父といわれる。幕末から明治 5 年（1872）まで高峰家があった場所。



②武蔵ヶ辻

旧家や老舗が数多く残り、レトロな雰囲気が楽しめるエリア。金沢の台所「近江町市場」のほか、全国で初めて旧町名が復活した「主計町茶屋街」などがある。尾張町の百万石通りは、老舗の商家が代々伝わる一品を店先に展示する「ミニ美術館通り」としても有名。

③袋町

北国街道が町の真ん中を通り、藩政期には金沢城西内惣構が町を横切っていた、貴重な歴史的遺構のあるまちで、町名は町の端が袋のように行き止まりになっていたことに由来する。藩政初期には、浅野川の水運を利用した魚市場があったが、その後、片町近くにあった魚問屋と統合され、旧近江町周辺へ移された。

④旧博労町

藩政期、馬を売買するかたわら、藩士の稽古用の眞馬を飼育する博労たちが住んだことからこの名がついた。馬労町とも書いた。

⑤黒門前緑地

平成 13 年（2001）、金沢地方検察庁検事正官舎の一部と、その土塀を廻らす屋敷構えを保存するとともに、タカジアスターゼとアドレナリンの創製で世界的に知られる高峰讓吉博士ゆかりの家屋を移築し、公園として整備したもの。



⑧南町

天文 15 年（1546）に本願寺は加賀を治める本拠地として尾山御坊（金沢御堂）を小立野台地の最先端、現在の金沢城の本丸付近に建立しはじめた。南町は、尾山御坊の周りにつくられた寺内町の一つで、町名は尾山御坊の南側にあったことに由来する。また南町は最も古い町の一つでもある。当時からいろいろな業種のお店があり、経済活動が盛んだったが、現在でも金融街、ビジネス街として北陸経済の中心となっている。